

NEWS RELEASE

0.03マイクロメートルの浮遊微粒子も捕集できる、 フィルター式と電気集じん式を組み合わせた 「ハイブリッド式空気清浄機 CL-HB922」を発売します

発売日：10月1日（土） 販売店：全国の家電量販店等

ダイニチ工業株式会社（本社：新潟県新潟市、代表取締役社長：吉井 唯）は10月1日（土）に、ハイブリッド式空気清浄機 CL-HB922 を、全国の家電量販店等で発売します。

当社のハイブリッド式は、不織布で汚れを絡めとるフィルター式と、帯電させた金属板に汚れを吸着する電気集じん式を組み合わせた方式です。0.03 マイクロメートルの浮遊微粒子も捕集できます。

空気清浄機をお使いの方へのアンケートでは「稼働音がうるさい」「手入れの手間がかかる」「集じんが弱い」という製品に対する悩みがあることがわかりました。また年間約7,000件以上寄せられる当社加湿器のユーザーアンケートでは、空気清浄機をお使いの方から、複合機能である加湿機能、それによる運転音についての悩みが寄せられています^{※1}。

当社は後発メーカーだからこそ、お客様の悩みを軽減できるものをめざし、少ない手間で性能を維持できる、空気清浄機能に特化した単機能の空気清浄機を開発しました。



ハイブリッド式で3つの特長を実現

- | | |
|------------|---|
| ①大風量でコンパクト | レコードジャケット（31cm 四方）と同じ底面サイズながら、8.6 m ³ / 分の大風量で38畳のお部屋まで対応。 |
| ②カンタンお手入れ | お手入れは4カ月または2年に1回、「捨てるだけ」・「浸け置きするだけ」。 |
| ③静かな運転音 | 最小運転音は15dB。 |

①大風量でコンパクト

フィルター式と電気集じん式を組み合わせたことにより、それぞれの方式の集じん部品を小さくしても空気清浄能力を維持でき、風量に対し本体がコンパクトになりました。底面はレコードジャケットと同じサイズ（31cm 四方）で、お部屋の場所を取りません。

②カンタンお手入れ

・カンタン取替えプレフィルター：4カ月に1回捨てるだけ

汚れの約75%がプレフィルターで捕集される^{※2}ため、プレフィルターがお手入れの大部分を占めます。当社のプレフィルターは捨てるだけなので、育児や介護などで忙しく時間がない方の「家事の時短」に役立ちます。

その他の集じん部品については、2年に1回のお手入れで性能を保てる設計となっています^{※3}。

③静かな運転音

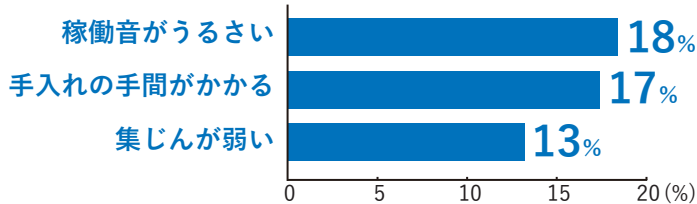
最小運転音は15dB。おやすみ時や集中したいときなど、音が気になるシーンも快適に使うことができます。

また内部でプラズマ放電を発生させるNEOH（ネオ）リフレッシュ機能を搭載しており、フィルター等に捕集されたウイルスを抑制します^{※3}。

※1：詳細は添付資料1 ※2：自社試験による ※3：詳細は添付資料2

空気清浄機・加湿器をお使いの方の声

空気清浄機の不満な点



調査機関：マイボイスコム㈱／調査方法：WEB（全国）／調査時期：2021年3月／調査人数：748人／調査対象：20代～70代までの男女 複数回答

加湿器ユーザーアンケートに寄せられるご意見

- ・加湿空気清浄機ではなく、加湿器を使ってみたらとてもうるおった
- ・空気清浄機の加湿機能を使っているが、運転音が気になる

など

空気清浄機的方式 ハイブリッド式とは

フィルター式

目の細かい大きな不織布フィルターで汚れを絡めとります。

電気集じん式

帯電した金属板のユニットに汚れを吸着します。

2つの方式を組み合わせたハイブリッド式

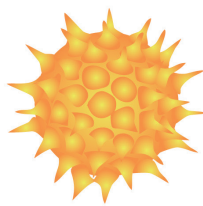
- 活性炭脱臭フィルター
- フィルター式 静電 NEOH フィルター
- 電気集じん式 プラズマユニット
- カンタン取替えプレフィルター

フィルターで絡めとる
汚れの微粒子を帯電

静電 NEOH フィルターは目の間隔が広く、風が通りやすく静音性に優れた不織布フィルターです。またプラズマユニットも金属板の間隔が広く、風が通りやすい構造をしています。風が通りやすいことでコンパクトな本体サイズでも大風量を出すことができ一方で、帯電させることで汚れ微粒子がフィルターに付着しやすくなり、単一方式と遜色なくしっかりと汚れを取ることができます。



髪の毛
約70μm



花粉
約30μm



PM2.5
約2.5μm

ウイルス
約0.1μm

ウイルス
約0.1μm

ダイニチ
除去可能性能※1
約0.03μm

約0.03μm

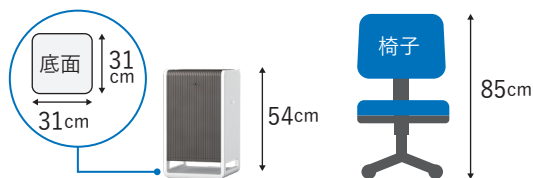
第三者機関での浮遊ウイルス除去性能評価では抑制効果を確認しています※2。また浮遊ウイルスよりも小さい 0.03 マイクロメートルの浮遊微粒子についても、第三者機関において捕集できることを確認しています。

※1：●試験機関：暮らしの科学研究所株式会社 ●試験方法：25m³空間にてNaCl粒子を浮遊させ、SMPSにより粒子濃度を測定。●試験対象：塩化ナトリウム ●試験結果（試験番号）：約19分で99%抑制。ターボ運転で実施。（LSRL-56010-F137）数値は密閉空間での効果であり、実使用空間での試験結果ではありません。

※2：●試験機関：一般財団法人日本食品分析センター ●試験方法：約6畳の試験空間で一般社団法人日本電機工業会規格（JEM1467）の性能評価試験にてターボ運転で実施。●試験対象：浮遊した1種類のウイルス。●試験結果（試験番号）：約17分で99%抑制。（第21054455001-0101号）数値は密閉空間での効果であり、実使用空間での試験結果ではありません。

添付資料2

高さ54×幅31×奥行31cmのコンパクトサイズ



本体サイズは高さ 54× 幅 31× 奥行 31cm。31cm 四方の底面は、レコードのジャケットと同じサイズで広い設置スペースを取りません。

4カ月に1回・2年に1回のカンタンお手入れ

・カンタン取替えプレフィルター [4カ月に1回]

役割：ホコリや髪の毛など大きな汚れを捕集する



本体前面から
サッと取り出し

汚れに触れずに
ごみ箱に捨てる

新しいプレフィ
ルターをセット

・プラズマユニット [2年に1回]

役割：汚れ微粒子に帯電させる



ぬるま湯に
1時間浸けおく

すすぎ洗いをする

・静電 NEOH フィルター [2年に1回]

役割：汚れ微粒子を捕集する



本体背面から
取り出し

そのままごみ箱
に捨てる

新しいフィルター
をセット

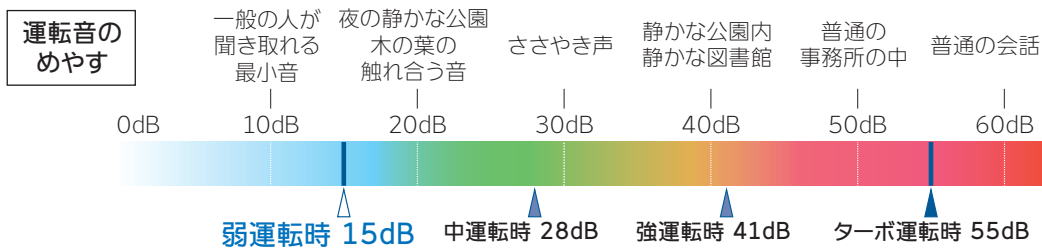
・活性炭脱臭フィルター [2年に1回]

役割：ニオイを吸着する

*画像は静電 NEOH フィルターの場合です。

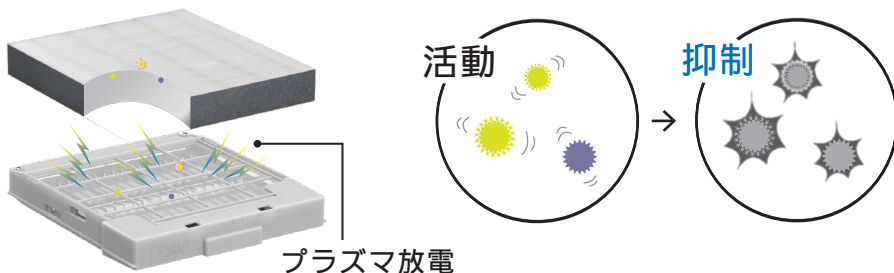
*使用状況によっては各種お手入れ方法が異なる場合があります。

最小音15dBの静音



弱運転時の運転音は 15dB です。就寝時や集中したいときも、そばで運転していることを忘れてしまうほどの静かさです。

NEOHリフレッシュでウイルスの活動を抑制

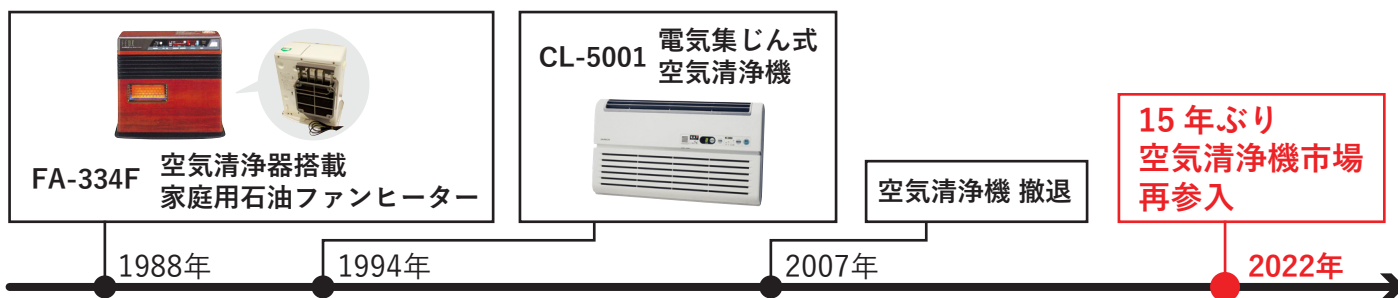


運転中や運転停止時に、プラズマ放電により発生した低濃度オゾンで、プラズマユニット内の集じんプレートと静電 NEOH フィルターに付着したウイルスの活動を抑制※します。

※●試験機関:株式会社 食環境衛生研究所 ●試験方法:1mの試験空間で空気清浄機運転中にNEOHリフレッシュ運転を実施 ●試験対象:静電NEOHフィルターおよび集じんプレートに付着した1種類のウイルス ●試験結果:30set実施で99%抑制を確認(217511N-1)。

添付資料3

これまでの当社の空気清浄機開発



当社の空気清浄機の開発は、1988年の空気清浄機能を搭載した家庭用石油ファンヒーターから始まりました。1994年には電気集じん式の空気清浄機を発売しましたが、HEPA フィルターが主流となった市場とマッチせず、2007年に撤退しました。今回のCL-HB922発売は、空気清浄機市場への15年ぶりの再参入です。

仕様

型名	CL-HB922			
電源電圧及び周波数	AC100V 50/60Hz			
適用床面積※1	63㎡(38畳)まで			
8畳を清浄する目安	7.7分			
運転モード	ターボ	強	中	弱
風量	8.6㎡/分	5.1㎡/分	3.2㎡/分	1.7㎡/分
運転音	55dB	41dB	28dB	15dB
消費電力	53W	18.5W	7.2W	3.8W
1時間あたりの電気代のめやす※2	1.64円	0.58円	0.23円	0.12円
外形寸法(高さ×幅×奥行)	540mm×310mm×310mm			
質量	約8.4kg			
電源コードの長さ	2.0m			
安全装置	室温異常自動停止装置			
付属品	カンタン取替えプレフィルター(交換用2枚)			
希望小売価格	オープン価格			
本体色	ホワイト×ブラウン			

※1:適用床面積の数値はJEM1467に基づくものです。(風量[ターボ]時)

※2:電気代は31円/kWh(税込)(公益社団法人全国家庭電気製品公正取引協議会[新電力料金目安価格])で計算したものです。

企業紹介

新潟県に本社をおくダイニチ工業は、1964年創立。業界に先駆けて石油気化燃焼技術の開発に取り組み、1971年にはガスのように青い炎で燃える気化式暖房機「ブルーヒーター」を発売いたしました。家庭用石油ファンヒーターの累計生産台数は3,300万台※3を達成しています。

また石油燃焼機器の専門メーカーとして培ってきた技術を生かし、2003年より加湿器の販売を開始。2022年には累計生産台数350万台※4を達成し、発売以来着実に台数を伸ばしています。

ダイニチが何よりも大切にしているのは、お客様に安全・安心な商品をお届けすること。そのために商品の企画・設計はもちろんのこと、主要部品の生産や最終組立、検査にいたるまでを新潟で行なっています。



※3:2021年11月16日現在。1980年からの家庭用石油ファンヒーターの生産台数。自社調べ。

※4:2022年2月14日現在。2003年からの加湿器の生産台数。自社調べ。